

日本の一のバリアフリー都市をめざして

佐賀県 嬉野市

2013年2月14日
NHK総合TV

ユニバーサルデザイン(UD)やバリアフリーの取り組みで、佐賀県が九州の先頭を走っている。中でも嬉野市では、県と市が出資した「佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター」が市内温泉旅館のバリアフリー化を推進。高齢者や障害者へハンディに応じて使いやすい旅館を無料紹介しており、観光の付加価値化にもつなげている。

センターは2006年に発足し、スタッフ4人で運営する。設立後は各旅館に協力を求め、脱衣所と風呂場の段差、トイレの手すりの有無、スロープの角度などを調査。これを受け、13旅館が県の補助を受けて工事を施した。センターは、各旅館のバリアフリー度をデータベース化し、障害に応じた旅館紹介が可能になった。このほか浴槽内電動昇降機、電動車いすといった福祉機器の無料貸し出しも行っている。



こはら・けんじ 1948年嬉野市生まれ。修猷館高校—成城大卒。1971年、「和多屋別荘」に入社し、78年から社長。全旅連会長を経て特別顧問。同市商工会会長、佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター会長などを務める。

嬉野市の特徴的な取り組みの一つに、「ユニバーサルデザイン(UD)」のまちづくりがあります。障害者を対象としたバリアフリーではなく、障害者を含め、全ての人が豊かな生活を送れるようにするのがUDです。私は年齢によるバリア、身体的バリア、心のバリア、言葉のバリアを取り除きたいと思っています。先頃、障害者からプロまで同じ舞台上立つ「湯らっくすコンサート」を開きました。秋には5回目となる車いすテニス大会を開催します。UDは「配慮」ではなく、社会の「前提」です。そうした視点から、全ての人に豊かな旅を提供できればと思っています。

嬉野温泉 旅館 千湯楼(せんとうろう)
〒843-0304 佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内
字清水乙2117-1
TEL.0954-42-1195 FAX.0954-43-5241

嬉野市街地から車で約5分ほど山あいに入った「千湯楼」も、UD化を進めた旅館の一つだ。室内と廊下の間にスロープを付けたほか、浴槽は縁を広くして座ったまま方向転換できるように工夫。室内の畳は車いすで移動しやすいようにへりをなくすなど、あらゆる“バリア”を排除した。

女将の柴田佳代子さん(62)は「車いすに乗った高齢のお客さんに『(浴槽)に入ることができず』お湯に漬かるのは10年ぶり」と喜んでもらった時は涙が出た。『自分たちの部屋だ』と言ってくれた高齢者もいる」とUD効果を強調。



内湯付き和洋室プラン(バリアフリー客室)

「心ほぐす宿」嬉野温泉入船荘 日本三大美肌の「嬉野温泉」内でもトップクラスの泉質を誇る天然温泉

<http://www.irifunesou.com/>
〒843-0301 佐賀県嬉野市嬉野町
下宿乙2330番地
TEL:0954-43-1230
FAX:0954-43-1229
IP.TEL:050-3645-2113



客室タイプD

バリアフリータイプの洋室です。お風呂やトイレもバリアフリー使用ですので足の不自由な方や車椅子をご利用の方などに最適です。

